

専修大学 特殊講義（寄付講座「地域デザイン」）

到達目標

- (1) 地域に関心を持ち、自ら調べ、整理し、考える態度を持つ。
- (2) 地域の住民が自ら居住する地域を深く理解し、新しい視覚からデザインする目を養えるようにする。

講義概要

わが国は本格的なグローバル時代に突入し、国境を越えた諸活動や人種の壁を越えた交流が積極的に行われる社会となっている。このようなグローバル社会では、各地域で活動を行う多様な主体の意識転換や地域に関する制度及びシステムの根本的な再構築が要請される。また、グローバル化の進展に伴い、地域活動であってもグローバルな視点を持つことが不可欠である。それゆえ、地域の価値を高めるためには伝統的な地域振興手法のみでは限界がある。全国各地で活動する地域の主体は、各地域でローカルな社会や文化に深く根ざしたきめの細かい力強い活動を展開するだけでなく、広く世界の各国に住まう多様な人々からも大きな支持を獲得できるような存在になること、すなわち広くグローバルに受容される展開を指向する必要がある。つまり、多くのローカルな主体がグローバルに広く認知されかつ支持されることで、グローバルな主体へと転換されることが期待される。

今後のわが国経済社会では、グローバルとローカルとは対抗的な概念ではなく、いわば一枚のコインの裏表のような相互に密接不可分な関係になる。すなわち、グローバルな活動はローカルに深く根ざすべきであり、同時にローカルな主体はグローバルな支持を獲得すべきであることを意味している。これまで、地方はどちらかというところ小さくかつ弱き存在で、それゆえ国や中央には従属的な存在であると認識されてきたが、これを根本的に覆す必要がある。地域とは一方的に支援されるべき対象としての地方であるといういわば弱者視点からの発想ではなく、むしろ地域は伸び悩むわが国の価値をグローバルなレベルで増大させるべき活動主体であるという強者視点からの発想に転換することである。

こうした大きな課題に応えるものとして期待できる戦略手法が、地域デザインであり、これによってわが国の多段階の地域に見出されるローカルな価値をグローバルな価値にまで高めることが期待される。それゆえ、経済学、経営学、社会学、都市工学、政治学、歴史学、地政学など、実に広範な研究領域において活動する講師によって具体的な事例により、講義を行う。

<講義計画>

- 4/11 特殊講義開講にあたってー受講の注意と評価方法などー
- 4/18 地域デザイン総論ー理論と手法(一般社団法人地域デザイン学会理事長、多摩大学大学院客員教授、原田保)
- 4/25 地域ブランディング①ー事例研究((菓樹(株)常務取締役 吉澤靖博)
- 5/2 地域ブランディング②ー事例研究((菓樹(株)常務取締役 吉澤靖博)
- 5/9 瀬戸内と直島・小豆島(日本ユニシス (株) 、宮本文宏)
- 5/16 瀬戸内と淡路島(日本ユニシス (株) 、宮本文宏)
- 5/23 世界遺産による価値創造①(高千穂大学商学部教授、庄司真人)

- 5/30 世界遺産による価値創造②(高千穂大学商学部教授、庄司真人)
- 6/6 芸術による価値創造①(大月短期大学教授 佐藤茂幸)
- 6/13 芸術による価値創造②(大月短期大学教授 佐藤茂幸)
- 6/20 旅スタイルと地域①(りんく考房代表、芝浦工業大学非常勤講師、鈴木敦詞)
- 6/27 旅スタイルと地域②(りんく考房代表、芝浦工業大学非常勤講師、鈴木敦詞)
- 7/4 食文食文化スタイルと地域①((有)アーベインクルー、(公法)兵庫県育才会理事長、青山忠靖)
- 7/11 食文化スタイルと地域①((有)アーベインクルー、(公法)兵庫県育才会理事長、青山忠靖)
- 7/18 地域デザインの未来－課題と提言－(一般社団法人地域デザイン学会理事長、多摩大学大学院客員教授、原田保)

<参考書>

- 原田保・三浦俊彦編著[2011]『地域ブランドのコンテキストデザイン』同文館出版
- 原田保・板倉宏昭・加藤文昭編著[2015]『旅行革新戦略』白桃書房
- 佐々木茂・石川和男・石原慎士[2015]『地域マーケティングの革新』同友館

<評価の方法>

- ・毎回授業終了時に提出するミニレポート(50%)
- ・最終レポート(50%)

履修上の注意

就職活動などで毎回出席することができない学生は受講しないでください。

遅刻・早退厳禁。

教室に入る前に脱帽のこと。

スマートフォン、携帯電話の電源は切ること。

その他

講師の仕事の都合などにより、急遽授業内容または講師が変更になることがあります。